

2026年3月期 第1四半期決算 補足資料

株式会社エクセディ
証券コード 7278

➤ 2026年3月期 第1四半期実績

- ✓ 為替影響や米州AT事業の受注減により売上高は減少するも、コスト上昇分の売価への転嫁や不採算の米国子会社の閉鎖により営業利益は増加。純利益は為替差損により減少

➤ 2026年3月期 通期予想

- ✓ 2025年4月24日公表の業績予想からの修正無し

➤ 株主還元

- ✓ 最適資本構成（自己資本比率60%）を維持する為、総還元性向100%方針
- ✓ 足元実績及び通期見通しを踏まえ、成長投資資金を確保できる見込みがたったことから、資本効率を改善すべく、年間300円（+50円）への増配を決定

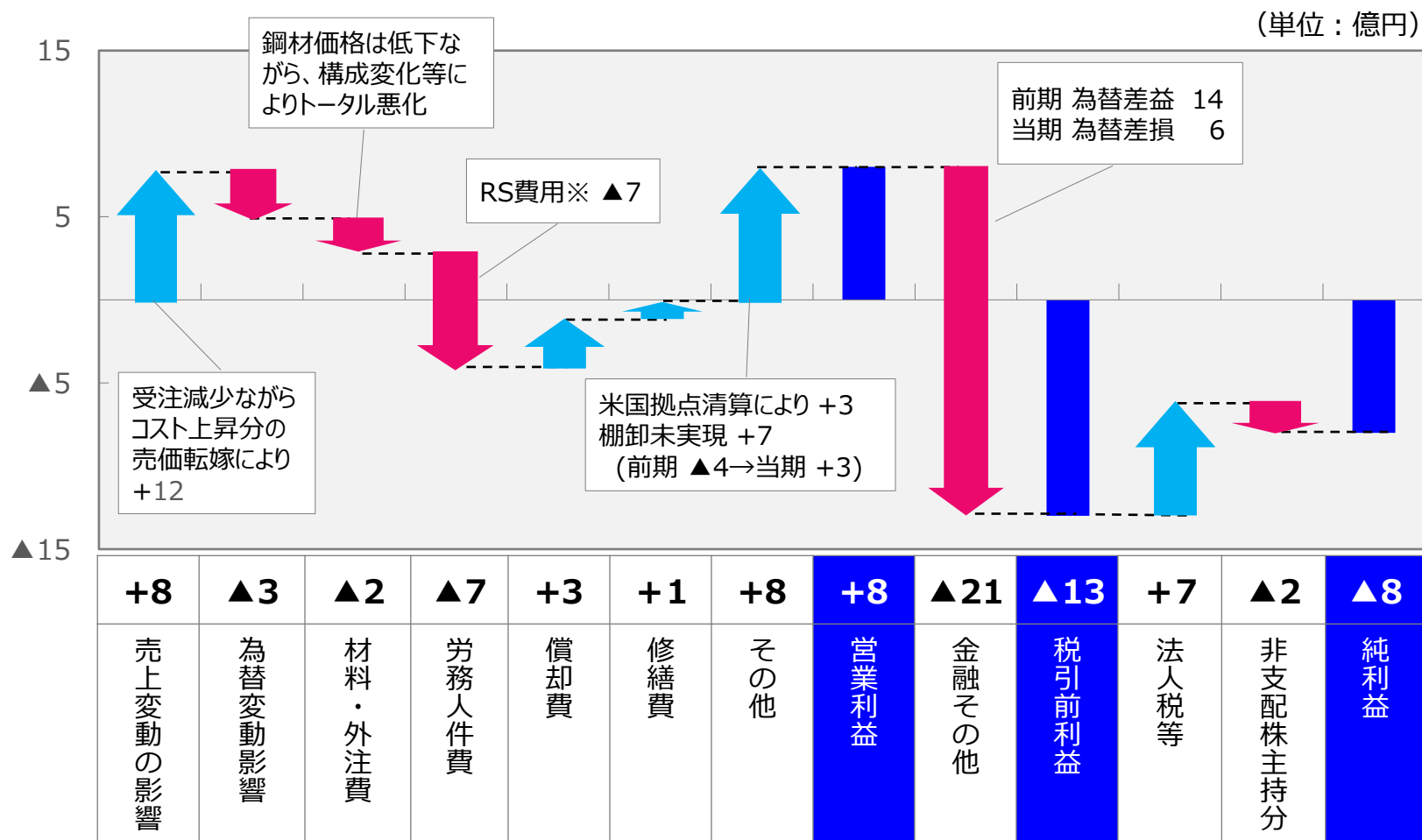
2026年3月期 第1四半期 実績 連結決算サマリー

Drive our future.

創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

- ✓ **売上高** : アジアでの二輪新規製品の増加、日本でのコスト上昇分の顧客への売価転嫁等 増加要因があるが、米州AT事業における受注減及び為替影響により売上高は減少
- ✓ **営業利益** : 人件費等のコスト上昇があるが、顧客へ転嫁。未実現利益の実現及び不採算であった米国外子会社の閉鎖により営業利益は増加
- ✓ **純利益** : 為替差損により純利益は減少

単位：億円	2025年3月期 第1四半期実績	2026年3月期 第1四半期実績	増減	増減率
売上高	754	719	▲ 35	▲ 4.7%
営業利益	41	49	+ 8	+ 20.3%
対売上高比率	5.4%	6.8%	+ 1.4pt	—
純利益	35	27	▲ 8	▲ 23.0%
対売上高比率	4.7%	3.8%	▲ 0.9pt	—
ドル円レート（平均）	156.5	145.2	▲ 11.3	▲ 7.2%



単位：億円	所在地	MT	AT	その他計				合計
					TS	2 W	その他	
2025年 3月期1Q 実績	日本	42.2	204.7	38.6	30.5	0.0	8.0	285.5
	米州	19.6	136.9	5.2	5.2	0.0	0.0	161.6
	中国	12.8	91.5	0.6	0.6	0.0	0.0	105.0
	アジア	89.2	40.7	41.7	0.0	41.6	0.0	171.6
	その他	14.4	16.4	0.1	0.0	0.0	0.1	30.9
	合計	178.1	490.2	86.2	36.4	41.7	8.1	754.5

2026年 3月期1Q 実績	日本	46.5	204.3	39.4	28.0	0.5	10.9	290.2
	米州	16.6	91.2	3.4	3.4	0.0	0.0	111.2
	中国	10.8	94.6	0.7	0.6	0.0	0.1	106.0
	アジア	89.1	43.4	51.4	0.0	51.3	0.0	183.9
	その他	12.8	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	27.6
	合計	175.7	448.3	95.0	32.1	51.9	11.1	719.0

対前年同期 差異	日本	+ 4.3	▲ 0.4	+ 0.8	▲ 2.5	+ 0.5	+ 2.9	+ 4.7
	米州	▲ 3.0	▲ 45.6	▲ 1.8	▲ 1.8	0.0	0.0	▲ 50.4
	中国	▲ 2.0	+ 3.0	+ 0.1	▲ 0.0	+ 0.0	+ 0.1	+ 1.1
	アジア	▲ 0.1	+ 2.7	+ 9.7	+ 0.0	+ 9.7	+ 0.0	+ 12.3
	その他	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 3.2
	合計	▲ 2.4	▲ 41.9	+ 8.8	▲ 4.3	+ 10.2	+ 2.9	▲ 35.5

※ご参考 為替影響 除く差異	日本	+ 4.3	▲ 0.4	+ 0.8	▲ 2.5	+ 0.5	+ 2.9	+ 4.7
	米州	▲ 1.6	▲ 38.5	▲ 1.5	▲ 1.5	0.0	0.0	▲ 41.5
	中国	▲ 1.3	+ 9.7	+ 0.1	+ 0.0	+ 0.0	+ 0.1	+ 8.6
	アジア	+ 4.3	+ 2.3	+ 13.9	+ 0.0	+ 13.9	+ 0.0	+ 20.5
	その他	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 2.6
	合計	+ 4.5	▲ 28.1	+ 13.3	▲ 4.0	+ 14.4	+ 2.9	▲ 10.3

単位:億円	所在地	MT	AT	その他計				合計※
					TS	2 W	その他	
2025年 3月期1Q 実績	日本	10.2	7.2	2.5	4.0	▲ 0.7	▲ 0.8	13.3
	米州	1.9	▲ 0.4	▲ 0.0	0.0	0.0	▲ 0.1	0.7
	中国	0.3	9.7	0.2	0.2	0.0	0.0	11.5
	アジア	11.7	3.4	3.5	0.0	3.6	▲ 0.2	17.7
	その他	0.7	0.3	0.2	0.0	0.0	0.2	1.5
	連結調整	▲ 3.3	▲ 0.6	0.1	0.0	0.1	0.0	▲ 3.8
	合計	21.4	19.6	6.5	4.2	3.0	▲ 0.7	40.8

2026年 3月期1Q 実績	日本	11.5	9.8	▲ 1.0	2.9	▲ 0.4	▲ 3.5	9.7
	米州	1.8	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	2.5
	中国	0.5	11.2	0.2	0.1	▲ 0.0	0.0	12.9
	アジア	10.8	4.7	4.1	0.0	4.3	▲ 0.2	19.6
	その他	0.8	0.8	0.1	0.0	0.0	0.1	1.9
	連結調整	2.1	0.4	0.1	0.0	0.1	▲ 0.0	2.6
	合計	27.5	27.3	3.5	3.1	4.0	▲ 3.6	49.1

対前年同期 差異	日本	+ 1.3	+ 2.6	▲ 3.5	▲ 1.1	+ 0.4	▲ 2.8	▲ 3.6
	米州	▲ 0.0	+ 0.7	+ 0.2	+ 0.1	0.0	+ 0.1	+ 1.8
	中国	+ 0.2	+ 1.5	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.0	+ 0.0	+ 1.4
	アジア	▲ 0.9	+ 1.3	+ 0.6	▲ 0.0	+ 0.6	▲ 0.1	+ 1.8
	その他	+ 0.1	+ 0.6	▲ 0.1	0.0	0.0	▲ 0.1	+ 0.5
	連結調整	+ 5.4	+ 1.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	+ 6.4
	合計	+ 6.1	+ 7.7	▲ 2.9	▲ 1.1	+ 1.0	▲ 2.8	+ 8.3

※ご参考 為替影響 除く差異	日本	+ 1.3	+ 2.6	▲ 3.5	▲ 1.1	+ 0.4	▲ 2.8	▲ 3.6
	米州	+ 0.1	+ 0.7	+ 0.2	+ 0.1	0.0	+ 0.1	+ 2.0
	中国	+ 0.2	+ 2.3	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	+ 0.0	+ 2.3
	アジア	▲ 0.6	+ 1.3	+ 0.9	▲ 0.0	+ 1.0	▲ 0.1	+ 2.4
	その他	+ 0.1	+ 0.6	▲ 0.1	0.0	0.0	▲ 0.1	+ 0.5
	連結調整	+ 5.4	+ 1.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	+ 6.4
	合計	+ 6.5	+ 8.5	▲ 2.6	▲ 1.1	+ 1.3	▲ 2.8	+ 10.0

企業価値&資本効率向上を目指した株主還元

						変革/REVOLUTION 2026（3年間）		
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		2024年度	2025年度	2026年度
1株当たり 配当金	60円	90円	90円	120円		250円 中間：100円 期末：150円	更新 年間 300円 以上	更新 年間 300円 以上
	中間：30円 期末：30円	中間：40円 期末：50円	中間：45円 期末：45円	中間：60円 期末：60円				
総還元性向	56%	34%	92%	▲56%	425%	2年間トータルで 総還元性向100% 更新		
DOE※	1.4%	1.9%	1.9%	2.6%	5.2%	DOE5%を目指す		
自己株式取得	-	-	-	-	450億円	(経営環境の変化を踏まえ検討)		

【2025&2026年度】

最適資本構成（自己資本比率60%）を維持する為、総還元性向100%方針

- ✓ 足元実績&通期見通しを踏まえ、成長投資資金を確保できる見込みがたったことから、資本効率性を改善すべく、増配を決定
- ✓ 但し、米国の関税政策の影響が不透明であることから、一旦、年間配当金は300円（+50円）
- ✓ 2025年10月末を目途に今中計のキャピタルアロケーションを見直し予定

Drive our future.

創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

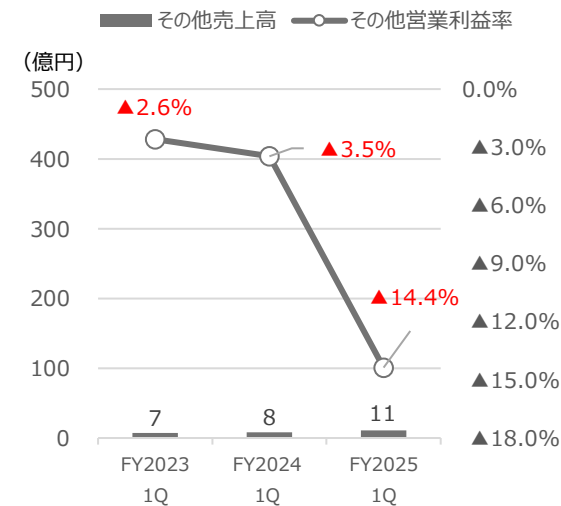
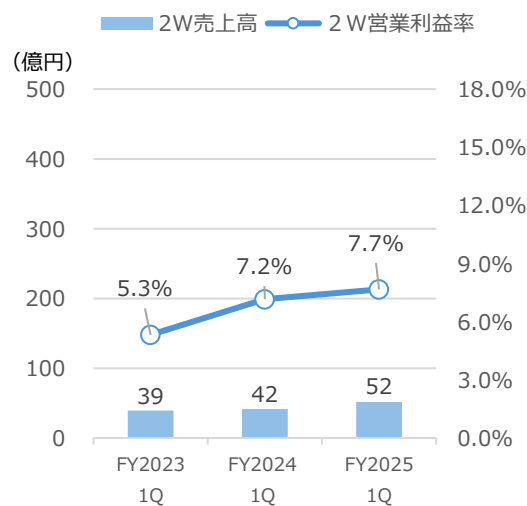
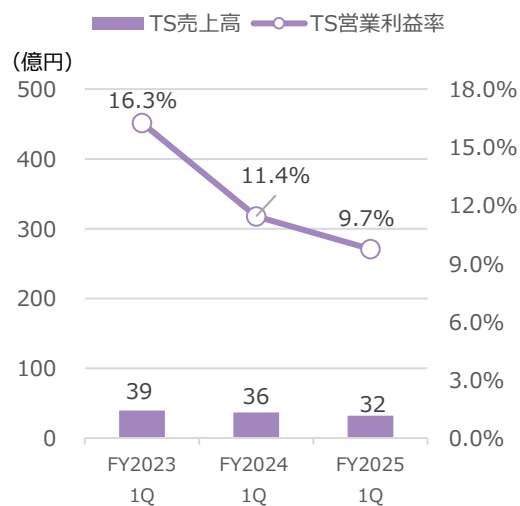
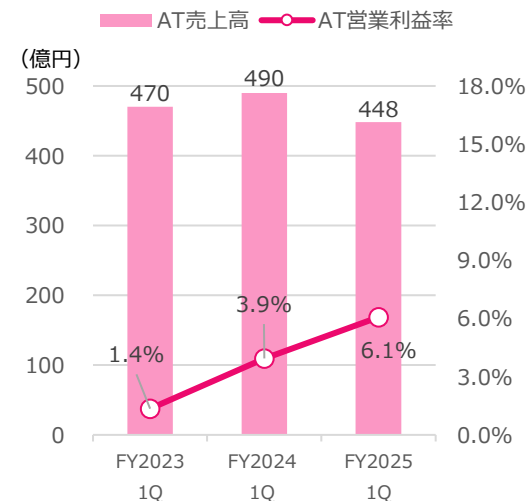
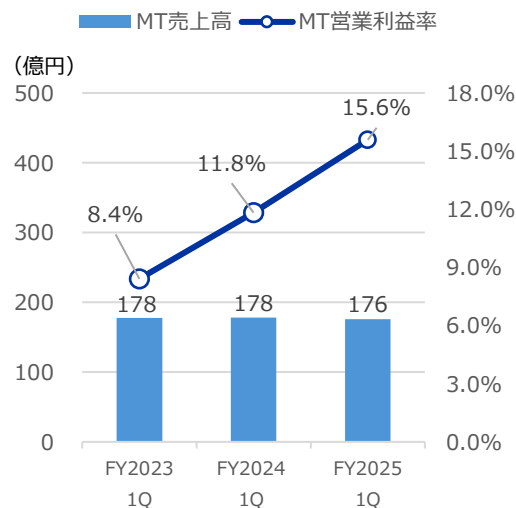


Appendix

2026年3月期 第1四半期実績 事業セグメント別業績推移

Drive our future.

創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来



2026年3月期 予想
連結決算サマリー

Drive our future.

創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

- ✓ 売上高： AT事業の受注数量減少、円高による為替影響等により、2025年3月期比7.9%減少見込
- ✓ 営業利益： 受注数量の減少、2025年3月期実施の従業員持株会向け株式付与に伴う労務人件費の増加等の減益要因あるも、赤字の米国現法の清算、顧客への売価転嫁等の挽回策により、2025年3月期比では13.0%減少見込ながら、中計最終年度の2027年3月期目標（営業利益190億円、ROE6%）に見劣りしない水準
- ✓ 中計目標： 順調な進捗状況を踏まえ、営業利益&ROEを上方修正

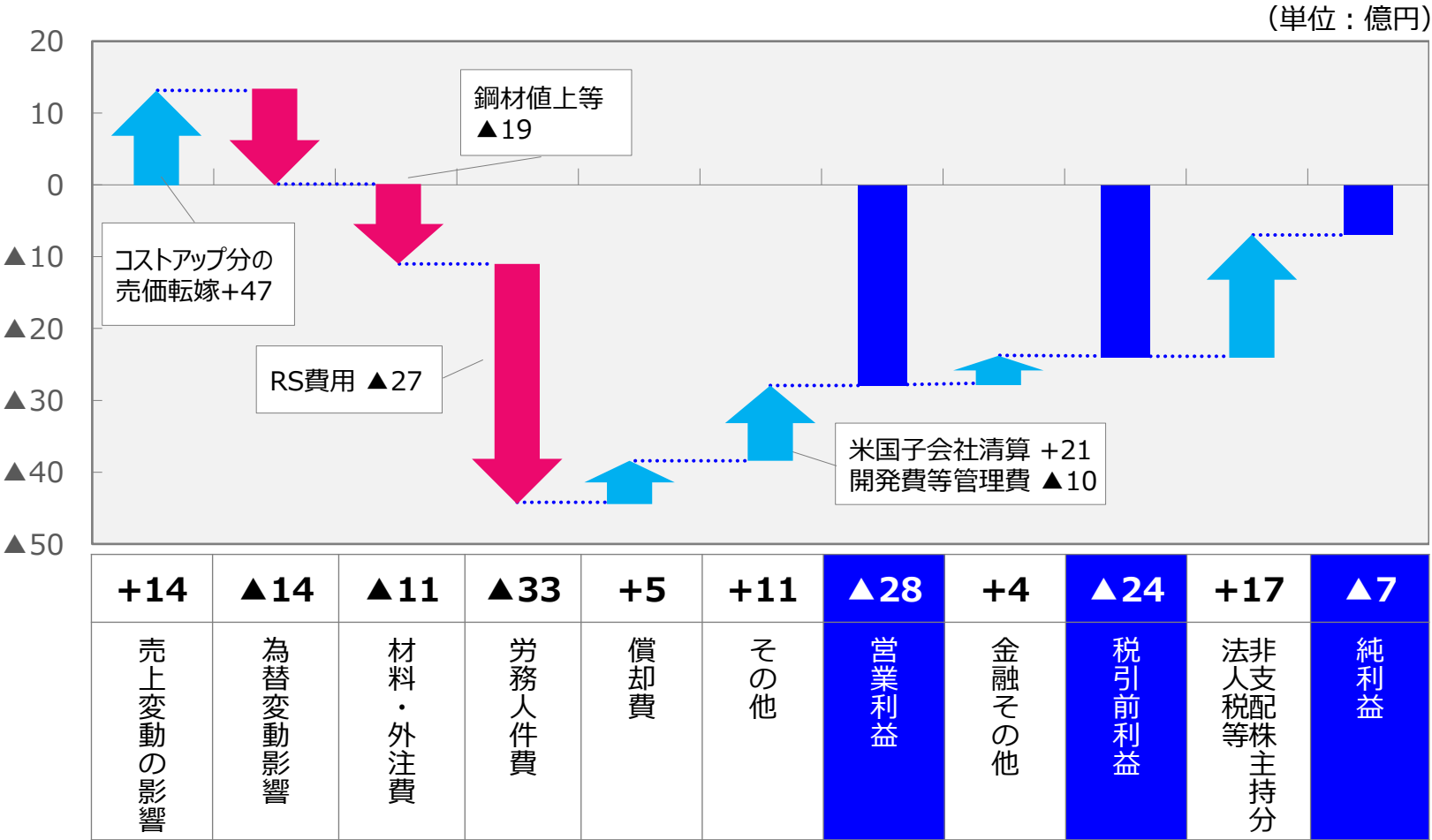
単位：億円	2025年3月期 実績 (中計初年度)	2026年3月期 予想 (中計2年目)	増減	増減率	更新 参考： 2027年3月期目標 (中計最終年度)	
売上高	3,096	2,850	▲246	▲7.9%	2,900 → 2,800	
営業利益	218	190	▲28	▲13.0%	190 →	200
対売上高比率	7.1%	6.7%	▲0.4pt	—	7.1%	
純利益	127	120	▲7	▲5.8%	125	
対売上高比率	4.1%	4.2%	+0.1pt	—	4.5%	
ROE	6.4%	6.6%	+0.2pt	—	6.0% →	6.7%
ドル円レート	152.5	143.0	▲9.5	▲6.2%	143.0	

2026年3月期 予想

利益増減要因 2026年3月期予想 vs. 2025年3月期実績

Drive our future.

創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

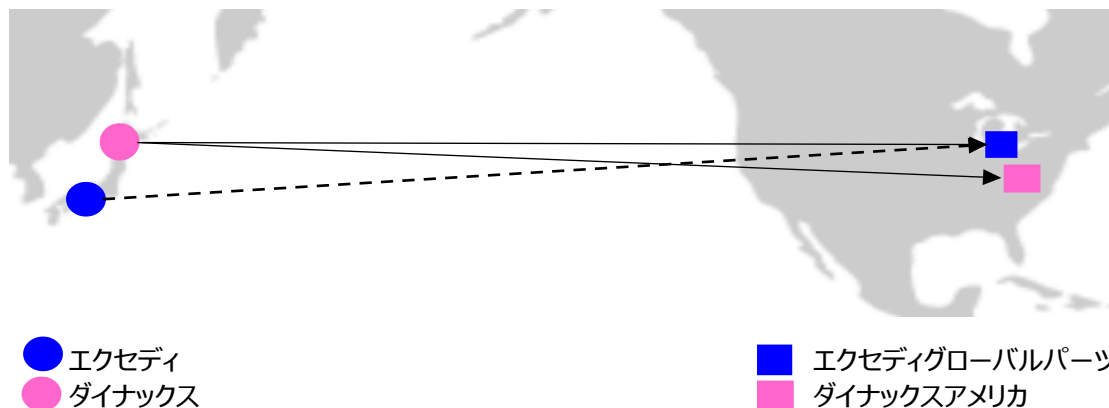


➤ 2026年3月期にて、当社グループが米国の関税政策により影響を受け得る取引は次の2パターン

- 1) 当社グループが直接、当該関税を支払う対象になり得る取引 : 90億円
- 2) 当社グループの顧客が、当該関税を支払う対象になり得る取引 : 664億円

1) 当社グループが直接、当該関税を支払う対象になり得る取引（当社米国拠点のグループ間の輸入取引）

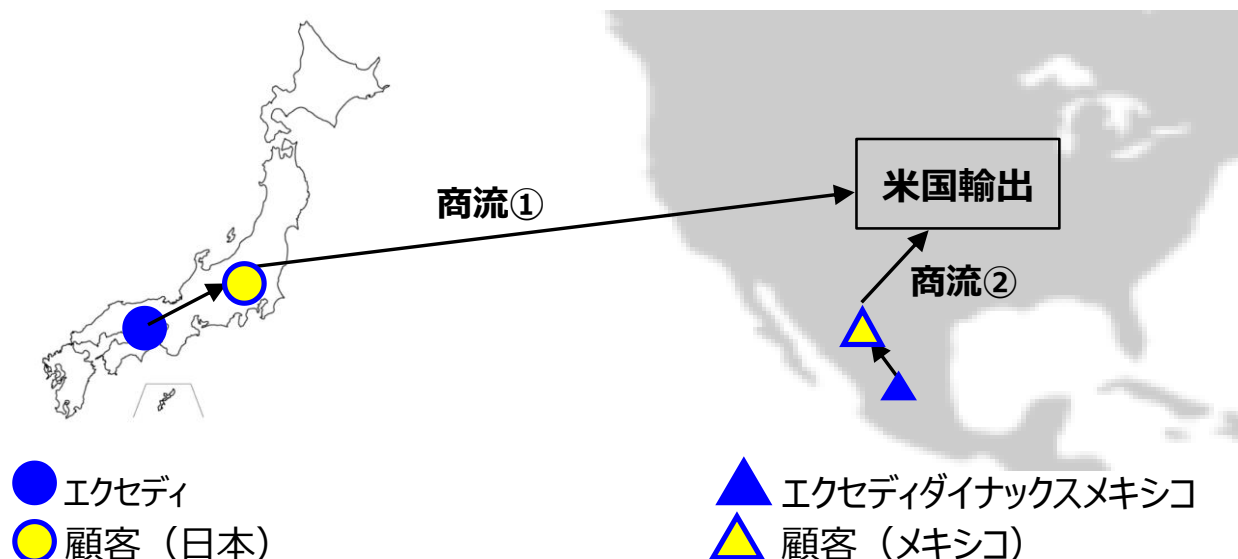
当社グループ米国拠点	輸入金額/年（千USD）	輸入金額/年（億円）	主な輸入相手国
エクセディグローバルパーツ	25,207	36	日本
ダイナックスアメリカ	37,818	54	同上
合計	63,025	90	-



- ✓ 当社グループが直接、当該関税を支払う対象になり得る取引は90億円（前年度売上高の2.9%）
- ✓ 本関税政策に伴うコストUP分は適正に売価に反映させていく方針
→2025年7月現在、売価への反映を実施中

2) 当社グループの顧客が、当該関税を支払う対象になり得る取引

NO.	主な当該商流
①	当社グループ（日本）→顧客（日本）→米国
②	当社グループ（メキシコ）→顧客（メキシコ）→米国
合計 664億円の内、① & ②で約9割	

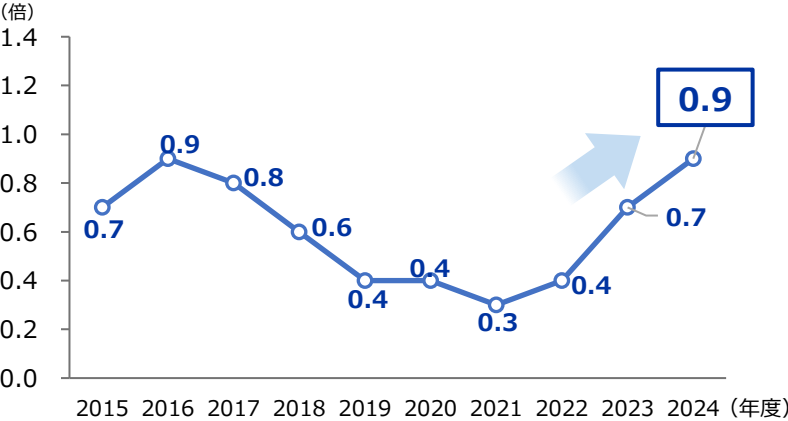


- ✓ 当社グループの顧客が、当該関税を支払う対象になり得る取引は664億円（前年度売上高の21.4%）
- ✓ 同関税政策に伴う受注減影響の現時点での適切な見積りは不可の為、2026年3月期の業績予想には反映せず。
関税コストUP分は売価に反映しつつ、受注減の場合は生産体制の最適化を図っていく予定
→2025年7月現在、業績への影響無し

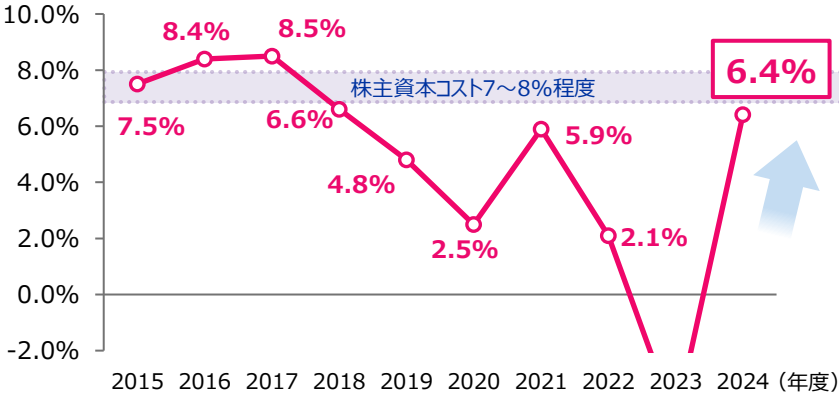
中期経営計画「変革/REVOLUTION2026」進捗状況
財務戦略（最適資本構成の追求による資本収益性の向上）

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

PBR



ROE・株主資本コスト



課題 (2024年3月末時点)	大口株主7社の主要要望 (2024年6―9月)	財務戦略の更新 (2024年10月)	成果/取り組み (2025年3月末時点)
PBR 1 倍割れの継続 <PBR:0.7倍> ① 株主資本コストを下回る ROE <自己資本比率:67.9%> ② BEVシフトに伴うトルクコン バータ需要の減退	ROE改善:7社 バランスシート (BS) 方針の 策定:7社 株主還元の見直し 増配:4社 不要(成長投資優先):2社 自己株式取得:1社	ROE目標(2026年度:6%、2030年 度:8%)達成に向け、財務戦略を更新 最適な自己資本比率(60%)を算出※1、 2025年度末迄の達成方針を策定 キャッシュフロー & 多様な株主要望を踏 まえ、財務レバレッジ活用等を織り込んだ 中計/キャッシュアロケーションの見直し	2026年度ROE目標を2年前倒しで達成 (ROE:6.4%、PBR:0.9倍に改善) 最適なBSを構築(自己資本比率:59.4%、 JCR格付A+維持※2) 財務レバレッジ活用(300億円)&運転資本圧 縮により以下実施の資金を捻出 増配(年間120円→200円以上※3) 成長投資資金の確保(300億円) 追加・自己株式取得300億円(計450億円)

- ✓ 大口株主との対話を踏まえて財務戦略を更新。最適なバランスシートへの変革により、今中計のROE目標 6%を2年前倒しで達成（PBRは0.9倍に改善。資本構成変更後もJCR格付けA+を維持）
- ✓ 今後はこの自己資本比率の水準を維持

※1 事業環境認識（BEVシフト等） & 3つのアプローチ（BS項目別リスク量の積上げ・WACC低減・高格付維持による負債コスト低減）により算出
※2 2025年4月7日公表、※3 2024年度予想は年間250円

中期経営計画「変革/REVOLUTION2026」進捗状況
財務戦略（キャピタルアロケーション）

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

2024年度-2026年度のキャピタルアロケーション

Cash Flow（3年間累計）

IN	OUT
営業CF 810億円	成長投資 300億円
運転資本圧縮等 70億円	更新投資 150億円
財務レバレッジ活用 300億円	株主還元 配当 280億円 自己株式取得 450億円

成長投資

- ① 戦略投資
新事業の創出に向けて戦略&機動的に資金投下
M&Aの専任部署新設し中計の利益目標達成を目指す
- ② R&D
新製品開発に人財&資金を集中投入
<新製品割合>2026年度63%、2030年度70%

株主還元

- ① 株主配当の増額
1株当たり配当金を年間250円以上に増額
- ② 自己株式取得
企業価値&資本効率向上に向け、2024年度
450億円の自己株式取得を実施

- ✓ 2024年度： 1株当たり配当金を年間250円に増額、450億円の自己株式取得を実施。
財務レバレッジ活用（シンジケート・ローンにより300億円調達）
- ✓ 2025年度以降： 企業価値向上実現に向け積極的な成長投資に注力、株主還元も継続予定

内容に関するお問い合わせ先

経営戦略推進本部 ESG・IR推進部 072-822-1695

本資料に記載されている将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づくものであり、今後の事業環境の変化により、実際の業績は異なる可能性があります。